

「HSP と発達障がい」を考える

感覚の敏感さは、発達障がいの特徴としても知られており、HSP（ハイリー・センシティブ・パーソン）と発達障がいは表面上、類似の症状や行動を示すことがあります。そのため、当事者だけでなく、支援者においても HSP を発達障がいと理解している場面も見受けられます。この講演では、両者の類似点だけでなく、弁別するポイントや相違点などについて、臨床実践や最新の知見から解説します。HSP についてより理解を深め、臨床実践につなげてもらえればと思います。



日時 2020 年 7 月 19 日 (日) 14:00-16:00



場所 上行寺 (大阪市港区弁天 2 丁目 15-7)



参加費 ひとり 4,000 円 (定員 15 名先着順)

※オンラインでの参加ご希望の方はお問合せ下さい。

講師 望月 直人 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 准教授

専門は、発達障がい児者や社会的養護の子どもたちの支援と研究。

HSP については、発達障がいとの関連や違いを明らかにすることを研究課題

としている。また、自身の経験から HSP の家族支援の重要性に関心を持つ。

著書『絶対役に立つ臨床心理学 第 6 章』ミネルヴァ書房ほか



お申込はこちら もうしこみ 右の QR コードまたは下記 URL の かき 申込フォームから もうしこみ お申込下さい → もうしこみ
<http://www.terakoya-hygge.jpn.org/access.html>

